

財団法人 日本友愛青年協会 在日中国大使館 日中友愛交流会開催 鳩山会館にて懇親のひととき

平成21年11月9日(金)17時より、鳩山会館において「日中友愛交流会」が開催された。これは在日中国大使館の湯本淵公使参事官の要請を受け開催されたもので、在日中国大使館からは、一等書記官、二等書記官など、若手大使館員が20名参加、日本友愛青年協会からは、川手正一郎常務理事、鶴巻克雄常務理事をはじめ、友好交流のため鳩山友愛塾第一期修了生の有志が参加した。次代を担うという情熱を共通項目に、同年代の日中両国の青年等は、懇親会で旧知の友のように親しく語らいのときをもった。



「日中友愛交流会」は、友愛を絆として、日中国民の友好と親善を進め、相互の平和と発展に貢献することを趣意として開催するもので、「日本友愛青年協会寄付行為」(事業目的)の中、国際交流を実践する公益事業の一つとなる。

友愛を語るに最も相応しい場所「鳩山会館」を会場に定め、一般公開終了後の午後五時三十分からの開会とした。

最近、一般公開でも大勢の方が訪れる鳩山会館は、日本を勉強している大使館の方々にとっても興味

題字：鳩山威一郎

機関紙「友愛」

発行所

(財)日本友愛青年協会
〒112-0002
東京都文京区小石川
1-10-13 小石川文芸ビル2階

TEL:03-5684-3188

FAX:03-5684-3186

E-mail:yuai@qj8.so-net.ne.jp

http://www.yuaiyouth.or.jp

発行人：川手正一郎

編集人：鶴巻克雄

隔月1回 10日発行

購読料

年額 3,000円



「論語」を引用し、「友愛」の理念、考え方を重ね解説。「利他」(人の為に)が基です。と川手常務理事

「友愛」は中国、日本に限らず、人間として必要な考えです。と流暢な日本語で語る湯本淵公使参事官



津々で、鳩山会館内の見学も予定に含まれた。

風邪のため急遽欠席された井上和子理事長代行に代わり、川手正一郎常務理事が歓迎の挨拶を行った。

続いて在日中国大使館湯本淵公使参事官が、本交流会開催が実現したことへの



参加者全員が熱心に耳を傾ける。若手大使館員は、全員が日本語を学んでいる。言葉を逃さずメモする姿も

「友愛」への解説に聞き入る大使館職員の方々。手にしているのは「友愛理解のために」日本語・中国語版



謝辞を述べた。

在日中国大使館湯本淵公使参事官は、日本友愛青年協会の行っている公益事業「中国における植林活動」の中国側窓口としてお世話になっている全中華青年連合会部長として活躍されていた。「友愛」とはその時



講演を終えた後、鳩山友愛塾一期修了生と交歓のひとときを。言葉の壁を超え、若者の盛り上がり

今回の交流会でも、基となる資料として、『友愛理

からのご縁である。

その後、湯公使参事官は、中国外務省勤務となり、北京での二ヶ月を過ごした後に在日中国大使館に赴任された。日本での勤務を始めた湯公使参事官から、早速友愛にご連絡をいただき、今回の友愛交流会が企画された。

湯本淵公使参事官が「友愛」について理解を深めたきっかけの一つは、第十六次(本年度予定)まで続いている、本協会が行っている植林事業での交流である。そしてその折、参考までにとお渡しした『友愛理解のために』を熟読してくださったようだ。さらには、「素晴らしい内容だから、中国語に翻訳させてください」と湯本淵公使参事官自ら完璧な中国語に翻訳をしてくださったという経緯がある。

十一月を霜月というが、この頃になると霜が降りたのだろうか。果たして昨今、都会に住む人はもとより、暮らしたなかで霜になじんでいる人がどれほどあるだろうか。地球温暖化など自然界の変化が原因なのか、アスファルトに覆われた、人工的な街づくりが原因なのか、双方かもしれない。▼霜に限らず、霜柱となると、今では田舎でも見ることが少なくなったのだろうか。子供のころ、寒さの中で白い息を吐きながら、霜柱を踏み、そのザクザクという感触を楽しんだことを思うと、近頃の子供は可哀想でもある。▼作られたもの、与えられたものだけで暮らしていくことは、一見便利で文化的に見えるが、人間のもつ「創造性」「挑戦心」を発揮する機会がないから、結局は、人間の独自性を損なうことになるのではないだろうか。▼創造したり、想像したりすることは、人間と動物を区別ける一つの線だと思ふ。時評子は、職業柄もあって、書物を読む機会が多いが、子供のころから家の書庫にあった漱石を読みながらも、自分なりにその人物像などを想像して楽しんだ。それも書物の楽しみの一つであった。

友愛時評

▼十一月を霜月というが、この頃になると霜が降りたのだろうか。果たして昨今、都会に住む人はもとより、暮らしたなかで霜になじんでいる人がどれほどあるだろうか。地球温暖化など自然界の変化が原因なのか、アスファルトに覆われた、人工的な街づくりが原因なのか、双方かもしれない。▼霜に限らず、霜柱となると、今では田舎でも見ることが少なくなったのだろうか。子供のころ、寒さの中で白い息を吐きながら、霜柱を踏み、そのザクザクという感触を楽しんだことを思うと、近頃の子供は可哀想でもある。▼作られたもの、与えられたものだけで暮らしていくことは、一見便利で文化的に見えるが、人間のもつ「創造性」「挑戦心」を発揮する機会がないから、結局は、人間の独自性を損なうことになるのではないだろうか。▼創造したり、想像したりすることは、人間と動物を区別ける一つの線だと思ふ。時評子は、職業柄もあって、書物を読む機会が多いが、子供のころから家の書庫にあった漱石を読みながらも、自分なりにその人物像などを想像して楽しんだ。それも書物の楽しみの一つであった。

▼その頃の経験が役立つという訳でもないだろうが、こうして時評の執筆など、文章を創造することが苦にならない。良い文章、良い書物に親しむことは、人生における最良の友を得ることと思う。(えふ)

友愛理解のためのいざない

「友愛」リーフレット完成

発行:(財)日本友愛青年協会

日本友愛青年協会が発行する、「友愛」についての公式な解説書『友愛理解のために』は、英語、中国語にも翻訳され、時に応じた活用がされている。

しかし、広く配布されている訳ではないことから、「どう理解すれば良いのですか」といった内容の問い合わせが寄せられていた。

また、この度の鳩山由紀夫前理事長の内閣総理大臣就任以来、「友愛」という言葉は、日本のみならず世界的にも大きく取り上げて扱われるようになった。最近、連日、一千人を超す来館者があるという鳩山会館でも「友愛」についての質問が多いという。

そのような現象をふまえた観点からも、「友愛」についての解りやすい解説書の作成は必要であった。

併せて、今回の公益法人法の改正をうけ、今後の財団の新しいかたちを検討している現在(二十年度新法検討委員会・二十一年度定款等作成委員会)、「友愛」の普及に関して、積極的な活動も要求されている。

今回のリーフレットの作成は、前述の状況を鑑み、一つの展開、試みとして行われたものである。

A4版(全ページカラー)一枚を三つ折りにしたかたちで、気軽に配布でき、受け取った方も、手軽に持ち帰ることができるよう考えられた。

「友愛とは」で代表される表題のとおり、このリーフレットを読んでいただく

友愛とは

フランス革命の自由、平等、友愛(博愛)の「友愛 Fraternity」がその起源です。そして、自由と平等の社会実現の為にはその絆として友愛が不可欠であるとの理念がそのベースです。鳩山一郎は、相互尊重、相互理解、相互扶助(友愛3原則)という言葉で友愛を具体的に表現し、友愛運動の行動指針としました。

友愛の提唱者と友愛運動

友愛を提唱したクーデンホフ・カレルギーは、明治27年東京に生まれました。父はオーストリアの貴族で日本公使、母は青山光子という日本人女性です。栄次郎という幼名もあります。2歳の時、オーストリアに帰国し、ウィーン大学を卒業、29歳の時『汎ヨーロッパ』を著し、その考え方がフランスのシューマン首相に認められ、EU発想の原点となりました。また1935年には『全体主義国家対人間』を上梓、その著書の中で友愛革命を提唱、それが鳩山一郎の目に留まり、終戦前自ら翻訳し、昭和28年『自由と人生』として出版。これが契機となり、友愛運動が始まったのです。

鳩山一郎は、終戦時の混乱した日本の社会を救うため、政治家の理念を「友愛」とし、保守大合同、日ソ共同宣言、国連加盟という政治目標を達成したのです。戦後10年で日本が「国家」として新しい方向に再出発できたのは、まさに鳩山一郎の友愛思想からです。

友愛運動の歴史

各種講演会、座談会、機関紙を通しての友愛普及活動
移動文化映画班離地巡回(創立時代)
無医村歯科診療離地巡回(創立時代)
福祉施設支援活動
友愛山荘を通しての社会教育運動
ー以降は(財)日本友愛青年協会として
海外青年交換等、国際理解推進のための諸運動
ドイツ歌曲コンクールはじめ諸外国との文化交流活動
中国植林活動
鳩山友愛塾支援

友愛社会の実現

カレルギーは、友愛の人間像について、それは自己完成であり、紳士と淑女の社会であるとし、しかしそんな素晴らしい桃源郷のような社会が実現するのでしょうか。

カレルギーは普通の才能と才識を具備した人間ならその理想に到達できると断言しています。要は、人間自身がそのような人間に近づく努力をすることであり、それが人類繁栄の道とし、思想が実現できるかどうかについては、それはその思想を信ずる人の数による、その思想を信ずる人の数が多ければ多い程、その思想は現実のものとなる。と説いているのです。

今、世界は経済的格差や差別、自然破壊、各地での

と、「友愛」「日本友愛青年協会」についての、基礎的なことがお解りいただけるようになっていく。

是非お手にとつて、ご覧いただきたい。そして、友愛理解のためご活用をお願いしたい。

*リーフレットご希望の方は、電話・ファックスなどで、事務局までお申し込みください。

*集会・講演会等でご利用の場合は、開催日時、主催などの詳細をお知らせください。

*『友愛理解のために』もご用意いたしております。お読みになりたい方は、事務局までお知らせください。なお、『友愛理解のために』は、日本友愛青年協会ホームページでもご覧いただけます。

友愛に尽くした友

日本友愛青年協会理事 奥田吉郎

日本友愛青年協会理事、中嶋信行君が、闘病むなしく、十月六日早朝、ご逝去されました。

行年八十一歳。生まれ育った故郷、福岡県八女市「まごころ会館」での葬儀には、鳩山由紀夫前理事長、鳩山邦夫、井上和子の両副理事長、川手正一郎、鶴巻克雄の両常務理事の各役員より、生花及び弔電が寄せられました。

オーストリア勤労青年連盟(OJAB)シユスラー会長からも、心情溢れる弔文が届きました。

昭和二十八年卒業、彼は松本瀝青に入社、営業のかたわら日大夜間の土木科に学び、技術を身につけるといふ努力の人でした。

昭和三十九年、独立して

友愛に尽くした友

日本友愛青年協会理事 奥田吉郎

私も親友として、通夜、葬儀に参列、弔辞を述べ、尽きぬ別れを惜しみました。

友愛クラブの川辺辨君も、駆けつけてくれました。思えば、彼とは、昭和二十三年春、富士の麓、日大三島予科で顔を合わせ、亡くなるまでの六十一年間、永き交友でした。

昭和二十八年卒業、彼は松本瀝青に入社、営業のかたわら日大夜間の土木科に学び、技術を身につけるといふ努力の人でした。

昭和三十九年、独立して

友愛に尽くした友

日本友愛青年協会理事 奥田吉郎

中嶋組を創立、各界の信頼も厚く、事業は伸び、九州に支社をつくる程の発展を遂げました。

友愛には私が紹介し、主として「友愛ドイツ歌曲コンクール」と「オーストリア勤労青年連盟(OJAB)」との交流に協力し、大きな貢献を果たしました。

趣味として作詩家、古伊万里の収集家。骨董に関しては玄人並みの見識をもっていました。

誠に惜しい人物で、ご冥福をお祈りします。

中嶋信行理事ご逝去

日本友愛青年協会中嶋信行理事が、十月六日ご逝去されました。中嶋理事は、オーストリア勤労青年連盟(OJAB)との友好交流に尽力され、現在の関係の礎を築かれました。その功労から、オーストリア勤労青年連盟より「名誉会員」として讃えられています。

「友愛ドイツ歌曲コンクール」の実施にも力を尽くされ、二十回を迎える現在に至ることができました。また、その両方を融合させ、ウィーンでのコンサート実施が実現しています。ここに謹んでご報告し、中嶋理事のご冥福をお祈り申し上げます。

友愛に尽くした友

日本友愛青年協会理事 奥田吉郎

中嶋組を創立、各界の信頼も厚く、事業は伸び、九州に支社をつくる程の発展を遂げました。

友愛には私が紹介し、主として「友愛ドイツ歌曲コンクール」と「オーストリア勤労青年連盟(OJAB)」との交流に協力し、大きな貢献を果たしました。

趣味として作詩家、古伊万里の収集家。骨董に関しては玄人並みの見識をもっていました。

誠に惜しい人物で、ご冥福をお祈りします。

友愛に尽くした友

日本友愛青年協会理事 奥田吉郎

中嶋組を創立、各界の信頼も厚く、事業は伸び、九州に支社をつくる程の発展を遂げました。

友愛には私が紹介し、主として「友愛ドイツ歌曲コンクール」と「オーストリア勤労青年連盟(OJAB)」との交流に協力し、大きな貢献を果たしました。

趣味として作詩家、古伊万里の収集家。骨董に関しては玄人並みの見識をもっていました。

誠に惜しい人物で、ご冥福をお祈りします。

クーデンホフ・カレルギー

汎ヨーロッパ運動主催者
友愛思想・友愛革命・友愛社会を提唱

明治27年(1894)11月16日
大正12年(1923)10月
昭和10年(1935)

昭和25年(1950)
昭和26年(1951)
昭和47年(1972)7月29日

東京にて出生 幼名 青山栄次郎
『汎ヨーロッパ』出版
『Totalitarian State Against Man』出版
(全体主義国家対人間)出版
シャルル・マーニユ賞受賞(Charlemagne Award)
ノーベル平和賞候補者となる
逝去 87歳

鳩山一郎

弁護士 衆議院議員当選15回
第52代～54代 内閣総理大臣

明治16年(1883)11月1日
昭和28年(1953)11月
昭和28年(1953)4月29日
昭和29年(1954)12月10日
昭和30年(1955)11月15日
昭和34年(1959)3月7日

東京にて出生
『自由と人生』出版
友愛青年同志会結成 会長就任
第35代内閣総理大臣 就任
自由民主党 初代総裁
逝去 76歳

鳩山薫とクーデンホフ・カレルギー伯

解のために』が用いられ、日本語、中国語の双方が「友愛」を実践したかたちとなった。

続いて、川手正一郎常務理事が「友愛」について講演を行った。演題は「人間と友愛」。自らが歩んで来た友愛の軌跡、なぜいま友愛なのか、友愛の本質は母性愛であり、利他（りた・他の人のために）であること、熱を込めての講演である。

若手大使館員の方々は、うなずいたり、時折は難しい熟語に辞書を引いたり、あるいは隣の人に確認したりと、真剣な眼差しで講義に取り組んでいた。

講演終了後は、参加者全員、後の懇親会に参加する鳩山友愛塾一期修了生も一緒に記念撮影となった。

懇親会では、鳩山会館一階の各部屋に、五、六名ずつのグループが出来、それぞれ話題は違えど共通しているのは楽しそうな笑い声と、頷いたり、質問したりの活発な交流。各人が旧知の友であるかのように、うち解けて話が弾んでいる。

本協会の植林活動に参加した修了生もあり、自分の見た中国についての話題もでている。日本語をどうしてそんなに上手に話せるのかと、感嘆の声もある。やがて、懇親のひとときを経て、双方とも名残は尽きぬ様子ではあるが、ひとまず第一回の交流会を終える時間が来た。

鶴巻克雄常務理事が、是非また来てください。そしていつでも仲良く話し合いをしましょうと、閉会の挨拶をのべ、会を終了した。

平成21年度文部科学大臣奨励賞 第20回友愛ドイツ歌曲コンクール 本選会出演者決定!!

第二十回の記念の回を迎えた「友愛ドイツ歌曲（リート）コンクール」の本選会出場者十名が決定した。

今年度は、平成二十一年十月二十七日（火）に文京シビック小ホールにて第一次予選が、同月三〇日（金）に上野の旧奏楽堂にて二次予選が行われた。

宮西 一弘



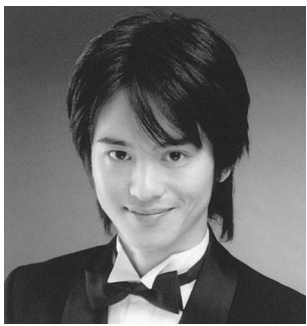
—学生の部—

福島県出身。県立福島高校在学中、合唱部へ入部したことをきっかけに声楽を始める。現在国立音楽大学音楽学部演奏学科声楽専修四年在学中。歌曲・ソリストコースに在籍。声楽をこれまで伊藤絢子、伊藤勲、佐藤峰子、澤畑恵美の各氏に師事。

ロフィールと写真で紹介したい。（プロフィール・写真はそれぞれプログラムに掲載のため、ご本人から提出されたものを掲載しております）

本年度の特徴として、男性演奏家の参加が多かったことが挙げられる。それを現すとおり、男性の本選会への出場者も四名、過去最高となった。

加来 徹



東京芸術大学音楽学部声楽科卒業。同声会賞受賞。二〇〇八年芸大メサイアのソリストを務める。今までオペラでは「ドン・ジョヴァンニ」のタイトルロールの他、「コシ・ファン・トゥッテ」「フィガロの結婚」「魔笛」「愛の妙薬」「ホフマン物語」等の主要キャストを務めている。

先生方も異口同音に「参加者の質が非常に高い」とおっしゃるように、本選会への出場に至るには、相当に高度な技術が必要とされたようだ。

本選会での各演奏家の表現、演奏に、今から大きな期待がふくらむ。

原田 勇雅

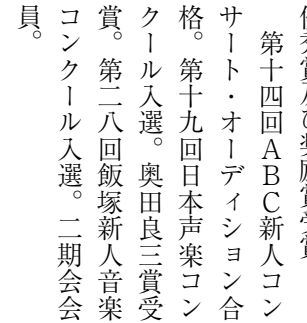


東京芸術大学音楽学部声楽科卒業。同大学院修了。第五八回全日本学生音楽コンクール声楽部門（大学・一般の部）第一位。オペラや宗教曲のソリストとして様々な演奏会に出演。

千葉県立津田沼高等学校卒業。武蔵野音楽大学を首席で卒業。

同大学卒業演奏会および平成二〇年度卒業生による新人演奏会、第三八回千葉県新人演奏会、第七九回読売新人演奏会に出演。

岩田 真奈



国立音楽大学声楽科卒業。同大学院（ドイツ歌曲）修了。

二期会オペラ研究所第四八期マスタークラス修了。優秀賞及び奨励賞受賞。

第十四回ABC新人コンサート・オーディション合格。第十九回日本声楽コンクール入選。奥田良三賞受賞。第二八回飯塚新人音楽コンクール入選。二期会会員。

草刈 伸明



第十回クラシック音楽コンクール高校の部入選。二〇〇八年五月に桐朋学園声楽コンサートに出演。二〇〇九年六月に仙台市立東二番町幼稚園創立百三十周年記念コンサートに出演。二〇〇六年桐朋学園大学声楽科卒業。二〇〇九年同大学研究科声楽科専攻修了。声

千葉県立津田沼高等学校卒業。武蔵野音楽大学を首席で卒業。

同大学卒業演奏会および平成二〇年度卒業生による新人演奏会、第三八回千葉県新人演奏会、第七九回読売新人演奏会に出演。

高山 圭子



国立音楽大学卒業。仙台フィルハーモニー管弦楽団、東京文響楽団と数々の宗教曲、第九のアルトソロとして出演。第十三回友愛ドイツ歌曲コンクール、第十三回日本モーツァルトコンクール、第五回長久手国際オペラ声楽コンクール等で入賞。これまでに木村俊光、毛利準、クルトヴィットマー各氏に師事。

尚美学園短期大学音楽学科声楽専攻卒業。二期会オペラ研究所第四七期マスタークラス修了。修了時に優秀賞受賞。第十六回日本声楽コンクール入選、田中路子賞受賞。

第十六回友愛ドイツ歌曲コンクール入選

村元 彩夏



岩手大学教育学部芸術文化課程卒業。東京芸術大学音楽学部声楽科を経て、同大学大学院音楽研究科声楽専攻二年次在学中。声楽を佐々木正利、朝倉蒼生、秦貴美子、寺谷千枝子の各氏に師事。

楽を佐藤佳子、木村俊光氏に師事。

石敬子、後藤由紀子、R・ファルティン、A・ハース、W・モリアの各師に師事。

高山 圭子

國井 陽子



乾杯の音頭を
川手正一郎鳩山会館館長



友愛婦人会とは馴染が深いと
鳩山邦夫衆議院議員



澁刺と華やかにご挨拶
鳩山幸夫人

友愛婦人会だより

鳩山会館にて「三慶のお茶会」開催

十一月九日（月）十二時より、鳩山会館において、友愛婦人会が主催する「三慶のお茶会」が開催された。秋の色が深まった鳩山会館には、正装に身を包んだ友愛婦人会の会員諸氏が顔を揃えた。

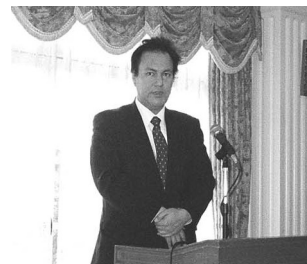
このお茶会は、例年のお茶会を特別に「三慶のお茶会」と命名し開会されたもので、鳩山安子会長のひとまずのご快癒、鳩山由紀夫先生の内閣総理大臣ご就任、鳩山邦夫先生の衆議院議員選挙でのご当選と、三つの慶び事を祝って開催された。

鳩山安子会長は、ご快癒とはいえ、まだ会へのご出席は難しいとのことでご欠席であったが、鳩山由紀夫内閣総理大臣の代理として、鳩山幸夫人がご出席、澁刺と挨拶を述べた。

鳩山邦夫衆議院議員もご出席、友愛婦人会とはご縁が深い、私の元秘書（現区議など）も育てていただいた



慶び事が更に増えますようにと
成澤廣修文京区長



友愛婦人会に育てられましたと
鳩山太郎氏



90歳を過ぎてなお矍鑠
種田英子副会長



感謝の辞を述べる
大川米子幹事長

鳩山友愛塾毎回の講義、充実の内容と時間

鳩山由紀夫塾長代行はビデオレターで熱いメッセージを
鳩山邦夫塾長代行は、真骨頂発揮で充実の講義を実施

鳩山友愛塾は、夏休みを過ぎ、後半の講義に入った。二期生も一期生同様、軽井沢友愛山荘を利用しての合宿を実施するなど、親睦の度を高めている。

講義も毎回、各界の第一線で活躍の素晴らしい講師の先生方をお迎えし、充実の内容、充実の時間が重ねられている。

鳩山由紀夫塾長代行は、九月に内閣総理大臣に就任、ご本人からは「時間を遣り繰りして行きたい」と

の意向が入っていた。しかし、就任直後、訪米から帰国直後の講義予定は流石に時間の都合がつかず、急遽川手正一郎塾長補佐、鶴巻克雄運営委員による「友愛」についての講義となった。

.....

一〇月六日 第一〇回 講師..鳩山由紀夫塾長代行（ビデオレターメッセージ）

川手正一郎塾長補佐及び鶴巻克雄運営委員



第11回講義
松井孝典教授



第12回講義
鳩山邦夫塾長代行



講義の後鳩山会館一階のホールで
「音羽の森で」を合唱する塾生達

た友愛の交流を実践している。後期に入ってから、呼びかける者があり、自主的に『音羽の森で』（吉田事務局長作詞・作曲。友愛塾の為の曲）を歌い、親交を深めている。

一〇月二〇日 第十一回 講師..千葉工業大学惑星探査研究センター所長 松井孝典教授

東京大学を退官され、ご自身の研究の核ともいえる研究センターの所長として、千葉工大に移られた松井教授。「地球維新塾」の想いを、見事な切り口で展開された。

十一月一〇日 第十二回 講師..鳩山邦夫塾長代行

お忙しい時間を遣り繰りして、講義が実現した。塾生の眼差しも期待に溢れて

いる。講義開始前、鳩山邦夫塾長代行は、ホワイトボードにトカゲ、イヌ、モグラなど、判じ物の様な生物名を書き始めた。講義は一体と見守る中、鳩山邦夫塾長代行が長年に渡って説いている「自然（地球）生態系」の総集編ともいえる話を展開。随所に政治家としての意見、理念が盛り込まれ、正に真骨頂発揮といえる講義内容となった。

軽井沢友愛山荘

軽井沢友愛山荘は、11月30日で本年度の営業を休止いたします。本年度も沢山の方々にご利用いただきました。この場をお借りして御礼申し上げます。なお、来年度の利用予約受付は、平成22年3月1日（月）より受け付けます。皆様のご利用お待ち申し上げます。

『読売時事川柳』で活躍の服部迪夫さんの作品をご紹介します。いただきます。

時事川柳 服部迪夫 作

— 松井・MVP

— 世界一の監督と賞金

— ニューヨーク

— タツノリと遼で支えたこの一年

— 子供から大人まで

— 列島がエコエコエコの大合唱

編集後記

◆土、日になると必ず二、三時間散歩することになっています。歩く距離は一〇キロぐらいが目処です。東京は細かな路地が多く、東西南北どちらの方向でも一寸工夫すれば、いろいろな生活や風景が楽しめ、一年中飽きることはありません。この間も家内と二人で三時間余り出掛けてみました。いつも歩いている公園やその付近なのに全く覚えのないところもあり、新発見の連続でした。自分の生活や健康は勿論、経済的には靴一足で事足り、耳目は牙え、頭と体が活性化、まさに一石二鳥の健康法。超お得なお奨め運動というところですね。

◆一言に国際交流といっても、国家レベルから、民間の草の根レベルまで様々な異なったカタチがあると思ってきました。友愛の国際交流は、どのようなカタチをしているのだろうか。どうも、決まった一つのカタチに当てはまらない。友愛はカタチにこだわらない国際交流をしてきたからだろうか。結局は、どんなカタチの国際交流も一人一人の心の交流に行き着くということからだろうか。（GO）

◆新年号を作ったと思ったら、もう十一月号です。そして実際には新年号の編集に取り掛かってしまいます。「あつ」どころかAの音さえ出している間もない程刻の過ぎるのが早いのです。歳のせいだとは、決まっていますが...。（も）